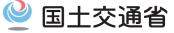
令和6年度の取組について

令和5年度 第2回「運行管理高度化ワーキンググループ」



ICTの活用による運行管理業務の高度化のシナリオ





令和3年度実証済

業務後における点呼自動化大

運行 点呼機器 運転者 管理者 (名称未定)

令和6年度

令和5年度実証済

業務前点呼における 条件付き点呼自動化

要件化

将来

業務前、業務後

点呼における 完全点呼自動化

検討開始

デジタルツールを活用

し、事業者を跨いだ遠

隔での運行管理(点呼

を含む)の実施

(業務前後

遠隔点呼

同一事業者内→事業者間 営業所、車庫からそれ以外 の場所へ

事業者を

跨いだ

事業者内■事業者、グループ企業内

令和3年度実証済

■場所:営業所・車庫

令和5年度実証済(同一事業者内)

自令等を改正し

令和5年度実証済

■場所: 待合所や宿泊地等

実証中

■事業者間

■場所 :営業所・車庫・

配車センター等(予定)

要件化



A社 A営業所 A社 B営業所

A社 C営業所



























A営業所





の一元化

【運行指示の一元化】

範囲:同一事業者営業所間

対象運行: 2地点間の定時運行 (路線バス、ルート配送等)

■対象業務の<mark>拡大</mark>

■対象運行の拡大(貸切・貨物を追加)

運用を行いながら 効果検証

人の柔軟な配置に つき要件化